

令和2年度 学校だより



令和3年2月10日(水)

御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

E-mail: 2月号

[onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp)

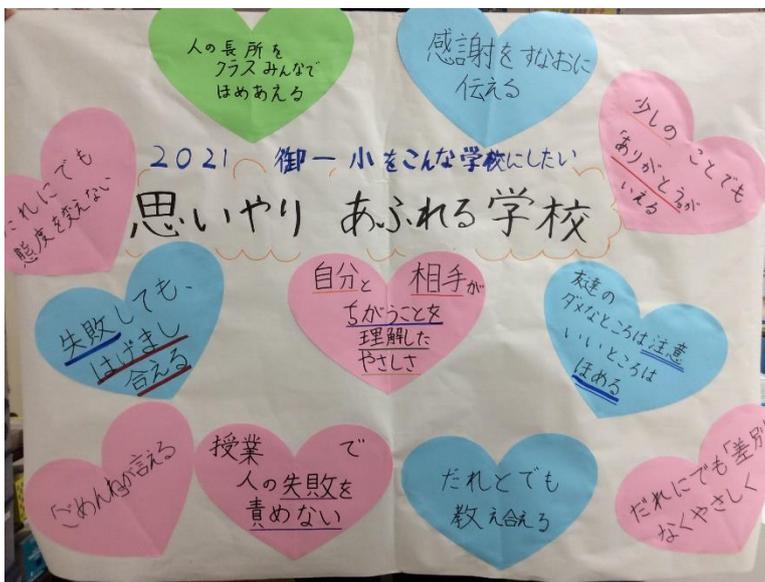
## 子供たちの花 学校への愛情 「御一小 未来プロジェクト」

天気予報でほぼ毎日更新される今季初の寒さの中、マスク姿の子供たちが登校して来ます。御家庭や地域の皆様が、毎日、子供たちが元気に登校できるように励まし支援してくださっているおかげであると感謝しております。また、分散授業参観にも御協力いただきありがとうございます。子供たちの頑張りの一部を多くの保護者の皆様に見ていただきたいと考え実施に踏み切りました。

12月、1月の学校だよりでも紹介しましたように、今、5、6年生がそれぞれに『御一小未来プロジェクト』に取り組んでいます。「学校をよりよくするのは自分たち自身だ」という意識を子供たちにも持たせたい、取組の中で自分たちの花に気付かせたい。このような教員の願いを込めて子供たちと共に始めた取組です。6年生からはこのような意見が届きました。

1月7日に学年集会を開きました。校長先生が、ぼくたち6年生に直接話したいことがあるということでした。どんな話なのか考えていると、校長先生は、「去年、誰もが想像できなかったことが起こったけれど、あなたたちだからこそ乗り越えることができた」と話しました。それにぼくはとても感動しました。今までの当たり前が当たり前でなくなってしまったけれど、6年生みんなで協力したからこそ乗り越えたと思います。これからも、急に大きな壁が現れるかもしれないけれど、今までのことを思い出して、少しずつ乗り越えていきたいと思います。(6の1 中山舜也さん)

5年生の未来プロジェクト実行委員会からは、学年で話し合った内容の報告がありました。



12月から5年生みんなで話し合ってきた成果です。この夢を実現させていくために、自分たちにどんなことができるか、どんなことをやっていく必要があるかを子供たち自身が考えみんなで協議し、全校に提案していきます。

ここに至るには「制限ある環境の中でも自分たちができる最善のことをやろう」と努力してきた6年生の姿がありました。リーダーとして、6年生が5年生へ示してきたその姿勢が大切な思いや願いとして

受け継がれていきます。子供たちの学校への愛情であり、『花』です。(校長 増田久美子)

